



丸子中央小だより

夢は羽ばたく

令和7年度 第22号

令和8年3月17日

上田市立丸子中央小学校

令和7年度卒業証書授与式

本日、上田市議会議員（2名）、コミュニティスクール運営委員、PTA 三役の皆様をご来賓に迎え、卒業生保護者の皆様のご臨席の中、卒業証書授与式を無事、挙行することができました。93名の卒業生は卒業証書を受け取り、学び舎を巣立っていきました。

卒業生のみなさん、保護者の皆様、誠にありがとうございました。卒業生一人一人の活躍、ご家族の皆様のご健康をお祈りしております。



学校長式辞 ～大好きな君たちに贈る言葉～

やわらかな陽射しに、春の訪れを感じる今日の佳き日、丸子地域教育事務所長・久保田政博様、上田市議会議員の皆様をはじめとするご来賓の皆様、卒業生保護者の皆様のご臨席を賜り、令和七年度上田市立丸子中央小学校卒業証書授与式をこのように晴れやかで、盛大に挙行できますこと、心より御礼申し上げます。

保護者の皆様、本日はお子さまのご卒業、誠にありがとうございます。また、これまで本校にお寄せいただきましたご厚情にも厚く御礼申し上げます。卒業生一人一人が、自分の夢や目標に向かって大成されますこと、教職員一同、願っております。

あしひきの 山櫻花 日並べて かく咲きたらば いと恋めやも

もしも山に咲く桜が何日も何日も咲いていたとしたら

こんなに愛しいとは思わないでしょう

すぐに散ってしまうからこそこんなに恋しいのだ

小学校生活六年間という一生に一度の限られた時間だからこそ、日々は輝き、終わりが恋しいのだと思います。ピカピカのランドセルを背負って入学したあの日から、六度目の桜の季節となりました。入学したあの日を思い出すような春の光を浴びて、みなさんは今日、卒業の日を迎えました。

旅立ちの日を迎えられた九十三名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

みなさんが小学校に入学した令和二年の春は私たち先生にとっても、一生忘れられないものとなりました。

「新型コロナウイルス」という目に見えない敵からみなさんの命を守るため、入学したばかり・これから楽しい毎日が続くはずだったのに、学校は休みとなり、学校に来ることも、先生や友達と会うこともできず、当たり前を訪れるはずの明日は、突然、奪われまし

た。ようやく登校することができるようになって、思い描いていた小学校生活とは全く違う生活だったことでしょう。小学校生活は、とっても密なのに、密であることが楽しいはずなのに、密を避けなければならない生活でした。

私たち先生から、いつも「これをしてはいけない」「あれをしてはダメ」と繰り返し言われました。きっと、友だちと遊んでも、思いっきりできないから、楽しくない、黙って前を向いて食べる給食も、おいしくない、運動会や音楽会、行事も、制限があつてつまらない。そんな毎日だったことでしょう。しかし、見えない敵と闘った日々は、見えないものに支えられた日々でもありました。支えてくれた見えないもの…それは、友だちであり、先生であり、家族の優しさや愛情であったと思います。

令和六年四月、みなさんが五年生になったとき、西内小学校が統合し、新生丸子中央小学校が誕生しました。統合はおめでたいことであり、丸子中央小学校がさらに元気に、活気ある学校になったと聞きました。しかし、統合するということは同時に、慣れ親しみ、愛着を感じ、思い出がいっぱいにつまった校舎に別れを告げなければならない友だちがいることを意味します。新しい友だちが増える喜びを感じつつも、さみしさや不安、残念な気持ちが大きかったということを先日、西内小学校出身の六年生が教えてくれました。しかし、新しい生活の中で感じた多くの友だちの優しさ、思いやり、楽しさのおかげで、そんな思いを小さくしてくれたとも話してくれました。「統合」という大きな経験を通して、みなさんは、優しく、強く、そして、たくましく成長しました。

さて、今、手元にある卒業証書には、あなたの名前と誕生日が書かれています。十二年前のこの日に、あなたが生まれ、その日から、あなたの名前も、この世に生まれました。「命名」いのちの名前です。

「明るく元気な子に育ててほしい」

「思いやりのある優しい子になってほしい」

「まっすぐで正直な人に育ててほしい」

「みんなを愛し、みんなから愛される子に育ててほしい」

「自分の夢をあきらめず、かなえてほしい」

「広い心を持ち、キラキラした人生を送ってほしい」

「コツコツと努力ができる子になってほしい」

「野原に咲く花のように素朴だけれど、強くたくましく生きてほしい」

「どんなつらいことがあっても、笑って周りを明るくしてほしい」

お家の方は、あなたが無事に生まれてきてくれたことに感謝し、生まれたばかりのあなたの顔を見ながら、「こんな子に育ててほしい」「こんな大人になってほしい」と未来を願いながら、いのちの名前をつけてくださったのです。あなたは命を授かり、いのちの名前とともに十二年間生きてきました。生まれたその日から、あなたは数えきれない多くの人に見守られ、支えられ、愛されながら今日まで育ててきました。今日はたくさんの人たちから「おめでとう」という言葉を言われる日である・・・と同時に、あなたを愛し、見守ってくれた家族や自分を支えてくれた方々に感謝の言葉を伝える日でもあります。お家に帰ったら、すぐにこの言葉、「ありがとうございます」を家族に伝えましょう。これが校長先生からの最後の宿題です。

さあ、卒業生のみなさん、お別れの時が近づいてきました。

ありがとう、生まれてきてくれて

ありがとう、元気でいてくれて

ありがとう、笑顔を見せてくれて

ありがとう、優しくいてくれて

ありがとう、完全燃焼してくれて

卒業生九十三名のこれからの人生が素晴らしいものになることを祈念し、式辞といたします。がんばれ！



(右) PTA 正副会長様のご尽力により、「卒業証書授与式」の看板を2脚、設置することができました。

(左) 堂々と証書を受け取ることができました。

PTA 三役 御礼のご挨拶

この1年間、PTA 活動の中心となっていたいただいた正副会長様よりご挨拶を頂戴しております。三役の皆様、大変お世話になりました。ありがとうございました。

PTA 会長

PTA には昨今、様々な考え方がありますが、「白黒つける場ではなく、対決より対話」が中央小の保護者の皆様、先生方の根幹にあったこと感謝申し上げます。「100%の完璧さを求めるPTAから、それぞれの不完全さを許容し寛大なPTAへ」「休める時は誰でも会合等を休めるPTAへ」を考えています。来年度もよろしくお願いいたします。

PTA 副会長

運営や活動を通して、PTA は保護者、先生方、地域の皆様など大勢の方の協力があり成り立っていることを実感しました。また、様々な視点からの意見や提案が子供たちのより良い学校生活の支えになっていると思えました。至らぬ点多々あったかと思いますが、ご理解・ご協力いただき感謝申し上げます。今後も子どもたちが安心して学び、成長できる環境づくりのために、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

PTA 副会長

本年度も、PTA の様々な活動や運営について、ご理解と多大なご協力をいただき、大変にありがとうございました。

皆様が「児童のために、学校のために」と真剣に考え、和気あいあいと話し合いをし、行動していただいたこと、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。私たち保護者と先生方が、学校や学習のよりよい環境づくりのために協働している姿は、きっと子どもたちにも良い刺激になるのではないかなと思っています。どうか今後とも暖かいご支援とご協力を、よろしくお願いいたします。

※3月10日付で tetoru にて配信されました上田市P連通信に、丸子中央小の人権研修の様子、腰越PTAの様子が載っておりますので、ぜひご覧ください。

《お知らせ・お願い》

- 昨日、1～5年生に「児童調査票」や保健関係の書類を配付いたしました。大切な書類ですので、紛失されないようにお願いします。必要な箇所を記入していただき、春休み明けに学校（担任）へ提出していただきますので、よろしくお願いします。
- 春休み中の連絡（事故や大けが、入院等）は、学校または市役所へお願いします。

<p>★学校へ連絡 42-2112 祝日を除く平日（月～金） 8時15分～16時45分 ★市役所へ連絡 22-4100（代表） 祝日、土日</p>	<p>市役所へ連絡した場合、市役所より学校関係者に連絡が入ります。その後、保護者の方に、学校よりお電話をする場合があります。予めご了承ください。</p>
---	--

